

# あいち農産物生産流通レポート

平成20年9月号

情報サロン		
・日持ち性が良いフキ「愛経2号」の開発 ～とれたての新鮮さ、緑あざやかな新品种～ (農業総合試験場)	-----	1
地域トピックス		
・ぶどうの品評会がセントレアで開催されました (知多農林水産事務所)	-----	2
東日本情報		
・平成19年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の 販売結果について (東京事務所)	-----	3
西日本情報		
・愛知県いちご生産組合連合会設立50周年記念大会 が開催されました (園芸農産課)	-----	5
フラワーページ		
・第41回愛知県山村花き品評会が開催されました (園芸農産課)	-----	8
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	-----	9
・名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	-----	10
花き		
・切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	-----	22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2008年6月)	-----	26
関連指数	-----	27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

日持ち性が良いフキ「愛経2号」の開発  
～とれたての新鮮さ、緑あざやかな新品种～

農業総合試験場では、愛知県経済農業協同組合連合会と共同して、収穫後に切り口が腐敗しにくいフキ新品种「愛経2号」を開発しました。

愛知県は、わが国のフキ出荷量の5割近くを占める日本一の産地で、作型を組み合わせる10月から5月まで長期間にわたって生産出荷しています。しかし、比較的高温である10月から11月及び4月から5月の収穫時に、栽培条件によっては切り口に腐敗が発生し、流通、消費段階で大きな問題となっています。

そこで、高温期においても収穫後の切り口が腐敗しにくく、日持ち性の良いフキ品種を育成しました。

育成経過

「愛経2号」は、2002年から6年かけて開発しました。

まず、県内産地から収集した9在来系統から、切り口の色が変わりにくく、みずみずしさを失わない4系統を育種素材として選抜しました。

次に、その頭花（フキノトウ）の細胞を培養、分化させて得られた植物体（再分化植物体）108系統から、生産者の協力により現地ほ場で選抜を行い、生育・品質が優れた5系統を選抜しました。

これら5系統について日持ち性調査を2年間行い、「愛経2号」を選抜し、2007年10月15日に品種登録申請しました。

「愛経2号」の特徴

- ・従来の系統に比べて、収穫後、葉柄の切り口が腐敗しにくく、葉身の黒変は遅くなります。これらの特性は、高温時においてより顕著に認められます。
- ・産地で問題となっている、葉柄の表面に赤色の斑紋が生じる赤さび症の発生が少なくなります。
- ・葉柄の色は鮮やかな緑色で濃い特性があります。
- ・従来の系統と同等の収量が得られます。

産地では、従来の系統から「愛経2号」への転換が進みつつあります。『緑あざやかな「愛経2号」』を栽培して、消費者へ『とれたての新鮮さ』を届けることにより、「愛経2号」がフキ産地の生産安定と振興に寄与することを期待しています。



緑あざやかな「愛経2号」

### ぶどうの品評会がセントレアで開催されました

平成20年8月22日（金）に中部国際空港セントレアで「第30回愛知県果実品質改善共進会（ぶどうの部）」が開催されました。

愛知県では夏の果実を代表する「ぶどう」・「いちじく」の栽培技術の向上と消費拡大を目的に、毎年「旬」の時期に共進会を開催しています。

専門の審査員の他に、地元の児童とその親が親子審査員として参加し「消費者特別賞」及び「消費者賞」を若い消費者の視点で選びました。

親子審査員には、審査の前に県の担当者からぶどうの栽培や審査の要領について説明を受けました。その後、親子が真剣な顔つきで審査をして各々が良いと思った品を選んでいました。

品評会には、愛知県内から75点が出品され、農林水産大臣賞始め特選15点入選7点が選出されました。

今年は、開花時期の降雨や7月以降の猛暑など、栽培に適した年ではなかったものの、品質の高いものが出品されていました。平均糖度は19.5でした。



説明会

品評会後に、出品されたぶどう（巨峰）の消費宣伝会が行われ、味は保証付きとあって非常に好評でした。

#### 主な受賞者

農林水産大臣賞	杉浦 功	常滑市長賞	神戸郁男
農林水産省生産局長賞	石田直人	常滑市議会議長賞	井上英雄
東海農政局長賞	間瀬俊文	愛知県農業会議会長賞	朝倉由美子
愛知県知事賞	長尾房枝		
愛知県議会議長賞	間瀬雅仁	消費者特別賞	岩附孝夫



審査状況



即売状況

## 平成19年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の販売結果について

7月8日に開催された京浜市場愛知県野菜連絡会主催による秋冬野菜販売反省会における販売概況のうち、先月号のキャベツ、トマト以外の品目について報告します。

品目別販売概要（京浜市場愛知県野菜連絡会の各研究会がまとめたもの）

### 1 ミニトマト

#### (1) 販売経過

年内の出荷数量は前年を下回り、入荷減、価格高という状態が続きました。年明け1月は気温も高く前年を上回る入荷となったため、価格はあまり上昇しませんでした。2月以降入荷量は伸びませんでした。価格は前年並みに推移しました。シーズンを通して入荷量が少ない年となりました。

#### (2) 競合産地の動向

千葉県：作付面積前年並み（品種：レッドルビー、グラミー他）

熊本県：作付面積前年並み（京浜市場シェア 50%）

#### (3) 消費動向

食味が重要となる品目であるため、「おいしいミニトマト」への要望が強くなっています。

#### (4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・品質の安定と食味の良いミニトマト作り
- ・生育状況などの的確な産地情報の提供と計画的な安定出荷

### 2 ブロッコリー

#### (1) 販売経過

今シーズンの販売においては、特に年明けの1月から3月にかけて出荷数量が安定したことにより、価格面で大幅高であった前年を下回ったものの、安定した販売で終了することができました。

年内の販売については11月上旬から12月上旬にかけては安定した販売となったものの、年末年始の商談の時期である12月中旬に、今までの前進出荷と低温の影響で数量減になったことにより高値販売となりました。これによってクリスマスや年末年始の量販店における売価設定が198～258円で組まれた状況の中、各産地すべてが下旬集中出荷となったため、年内最後に暴落しました。

年明け以降については本県産中心で多くの特売等のイベントが組まれたなか、出荷数量が安定したことによって最後まで引き合いの強い展開となりました。

#### (2) 競合産地の動向

競合産地としては埼玉、群馬、栃木、香川、福岡産を中心に、全国的に作付けは増加傾向にあります。その中で特に香川産と福岡を中心とした九州産については、中心階級を京浜に向け、相対取引中心に年々増加している傾向が見られます。

### (3) 消費動向

年々需要が伸びている中、量販店においても目玉商品として年間通して平気で安定的に販売されています。今後についても、料理方法が多彩であることから、量販店での安定的な販売が見込まれます。また、洋菜類の中でも業務扱いのシェアが低いことから、これらを拡大すれば更なる伸びが予想される商材です。

### (4) 野菜連絡会から本県への提言

値決め等による相対的な取引の拡大と消費宣伝会等の開催によるPR強化が望まれます。

## 3 おおば

### (1) 販売経過

19年度の東京都中央卸売市場の販売実績を数字で見ると、前年対比で数量97%、単価99%、金額96%という結果でした。この結果の中で、特に4月から7月は、単価が全て前年を下回る形となり、夏の需要期までの数量のある時期の販売が課題となりました。

また、今年度はあいち経済連を中心に需要期の値決めによる販売も始まり、量販店に対する価格提示ができたので、各市場で売り込みやすい環境になりました。

2、3月は重油高騰や中国冷凍ギョウザ事件の影響を受け、例年に比べ単価高での販売になりました。

### (2) 競合産地の動向

冬場の出荷量について、業界にも大きな影響を与えた重油の高騰により、年末販売終了と同時に3月までが数量減となりました。特に茨城産は大きく減少しました。また、中国産おおばを取り扱う業者については、以前は中国を中心にインドネシアでも栽培していましたが、中国産を避ける動きの中で、大きな業者では自社で国内にはほ場を構えたり、国内農家と契約したりと、方針も変わってきたように思われます。

### (3) 消費動向

一般消費という部分では低迷していると思われれます。しかしながら、中国冷凍ギョウザ事件以降、加工向けの注文が増えているのも確かです。惣菜などの伸びている業態にうまく対応していけば、消費といった意味ではまだまだ伸びる要素はあると思われれます。

### (4) 野菜連絡会から本県への提言

国内産への注文が増えている加工、惣菜などへの対応に加え、量販店への売り込み強化が必要です。量販店では、相場を問わず1束売りが中心となってしまうので、特に、春から夏の一般消費者の需要期には、例えば2束～3束売りなど、宣伝・消費活動を行って頂きたいと思います。

## 4 その他の品目

ふきの消費動向は、年内の需要は少なく、年明け以降は春商材として引き合いが強くなります。調理の手間がかかるため需要は減少傾向にあります。本県へは、高温期(10月、4～5月)の葉の変色などの傷み防止対策が望まれています。

また、さやえんどうは、本県産の品質、味とも好評価されているので、ロットの増加が望まれています。

## 愛知県いちご生産組合連合会設立50周年記念大会が開催されました

今年は、県内のいちご生産者組織が昭和34年3月に設立されてから、ちょうど50周年を迎えます。これを機会に、関係者が一堂に会し、これまでの歩みを振り返るとともに、今後のいちご生産の振興を一層図るため、愛知県いちご生産組合連合会50周年記念大会が開催されました。

- 1 日 時 平成20年7月11日(金)
- 2 会 場 幸田町民会館「さくらホール」
- 3 主 催 愛知県いちご生産組合連合会、  
愛知県経済農業協同組合連合会
- 4 参加者 673名(生産者500名、  
来賓96名、農協関係34名、  
その他関係者43名)



50周年記念大会の様子

### 5 大会の内容

#### (1) 愛知県いちご生産組合連合会50年の歩み報告

愛知県いちご栽培の歴史や、いちご生産部会の歩みについて、愛知県経済農業協同組合連合会園芸部長から報告されました。

また、会場には設立当時からこれまでのいちごに関する写真や最新の技術が展示され、参加者からは当時の様子を懐かしんだり、最新の技術について参加者同士で熱心に話し合う様子が見られました。



会場内の写真展示

#### (2) 功労者表彰

愛知県のいちご生産振興への貢献が顕著であった生産者などの方に対して愛知県知事表彰2名、愛知県経済農業協同組合連合会経営管理委員会会長感謝状7名、愛知県いちご生産組合連合会会長感謝状11名と1団体に賞状が贈られました。



### (3) いちごのスマイル写真コンテスト最優秀者賞表彰

4月から5月にかけて、いちごと笑顔の似合う写真コンテストに応募のあった192点の作品の中からを優秀賞20点の発表と、最優秀賞に輝いた2名(生産者の部1名、消費者の者の部1名)に賞状が贈られました。



愛知県知事表彰の様子  
(授与者は稲垣県副知事)



いちごのスマイル写真コンテスト  
最優秀者賞受賞者の方々

### (4) 大会宣言採択

いちご生産組合連合会副会長が、今後のいちご生産組合連合会の方針として大会宣言を読み上げ、満場一致の拍手をもって採択されました。

#### 大会宣言

- 1 私たちは、消費者ニーズに応え、安全で安心できるおいしい「愛知のいちご」の安定供給とブランド化に努めます。
- 1 私たちは、新技術の積極的な導入や作業性の改善に取り組み、生産性の高いいちご作りとゆとりある経営を目指します。
- 1 私たちは、後継者や新規参入者の育成に力を注ぎ、県内生産者が一丸となって、いちご産地の活性化を図ります。

### (5) 記念講演

いちご流通業者である株式会社ジャパンフレーズ代表取締役石川正久氏による「苺産業の50年を振り返りながら明日の苺を考えよう」、日本ベジタブル&フルーツマイスター協会理事長福井栄治氏による「なぜ、今野菜ソムリエなのか」について記念講演が行われ、それぞれの立場から感じていることや提案の話もあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



石川正久氏



福井栄治氏

## 第41回愛知県山村花き品評会が開催されました

第41回愛知県山村花き品評会（花と緑のときめきフェスティバル）が、7月30日（水）、31日（木）に豊田市立巴ヶ丘小学校（豊田市大桑町別当）で開催されました。

この品評会は、本県の山村地域の花き栽培技術向上と消費宣伝を図ることにより、山村地域振興を図ることを目的に、昭和43年から毎年開催されております。

### 1 審査会について

審査会は30日に行われ、出品点数が318点（切花の部183点、枝物の部69点、鉢物の部66点）ありました。

審査は県の試験研究関係者及び市場流通関係者によって行われ、入賞点数が64点で、うち、金賞（＝特別賞）20点、銀賞44点が選ばれました。愛知県知事賞には、切花の部で豊田市の太田知能さんの小ギク、枝物の部で新城市の森下三エ子さんのクジャクヒバ、鉢物の部で設楽町の麻野間秀一さんのシャジンが選ばれました。

今年の気象は、日照は平年並みでしたが、7月中下旬は記録的な暑い夏を迎え、中山間地でも非常に暑くなりました。しかし、この品評会への出品物は、全体的に品質の優れたものが多く、心配された病害の発生もほとんど見られず、いずれも丹誠込めて栽培、調整されたもので商品性の高いものばかりでした。鉢物も、品質が高く、また山野草や実物など中山間地域のイメージを活かした商品が見られました。

### 2 表彰式及び一般公開の様子

表彰式及び一般公開は31日に行われました。

表彰式は、受賞者はじめ、周辺住民の方々も参加して開催されました。品評会長である神田知事から県知事賞受賞者に、三河間伐材で作られた木製の賞状が手渡されました。

当日は天候に恵まれ、約600名の入場者数があり、品評会出品物についても、地域特産の小ギクをはじめ、山間地の特徴を良く活かした榊等の枝物、ポットマム等の鉢物に関心が集まっていました。また、付帯事業についても、山村地域の農産物の試食・販売や特産品の展示、販売コーナーに多くの関心が集まっていました。



写真1 審査会の様子



写真2 会場風景



写真3 特産物を視察する神田知事



# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場(品目:なし)

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
19年実績	2,852	229 (8%)	297	266	長野 (73%) 福島 (6%)
20年見通し	2,800	245	290		
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>豊水の入荷が本格化するほか、新高の入荷も始まる。梅雨時の降雨量が少ないことに加え、8月も高温が続いたことからかんばつ傾向であるが、玉肥大は例年並みで食味はよい。</p> <p>全体の入荷は前年並みと少ないが、愛知は前年を上回るであろう。価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>なしは、安定した消費のある果実なので、作付面積を確保し、必要な時に確実に入手できる体制を維持してほしい。また、愛知は、幸水 豊水 新高という展開だが、晩成種で甘みの強いものへの要望が高まっていることから、他産地では、南水、あきづきの作付が増加している。注視が必要。</p> <p>消費拡大には、試食宣伝の継続とともに、機能性(食物繊維など)のPRが有効。</p>		

## 東京都中央卸売市場(品目:ぎんなん)

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
19年実績	44	26 (59%)	1,537	1,248	埼玉 (12%) 静岡 (9%) 福岡 (7%)
20年見通し	45	-	1,500	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産は7月から入荷が始まり、今月から本格化する。作柄は概ね順調だが、猛暑と雨量が少ないので、小玉化が懸念される。埼玉はムキぎんなんの貯蔵量多く入荷量も多くなる見込み。</p> <p>入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心にした安定的な需要がある。愛知産は9月から本格的に入荷が始まり、実需者の評価も高い。出荷に際しては、L玉を中心にサイズの統一、カビ果や裂果を取り除くなど品質の安定を図り、栽培面積の維持と安定出荷をお願いしたい。</p>		

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		全国 平成17年 = 100				
		愛知県 平成17年 = 100				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	18年平均	100.3	105.8	104.0	100.8	102.2
	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年 4月	100.9	106.5	93.7	106.6	105.8
	5月	101.7	104.0	104.2	106.8	105.2
	6月	102.2	104.6	110.8	107.2	104.8
愛 知 県	18年平均	100.2	103.9	102.5	99.8	103.9
	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年 4月	100.8	102.4	94.9	103.1	103.5
	5月	101.4	96.8	103.3	103.5	105.0
	6月	101.8	101.2	105.2	104.1	102.7

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	18年平均	102.9	97.8	108.2	120.6	99.0
	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年 3月	102.2	92.1	120.8	79.5	102.4
	4月	97.9	93.1	106.8	82.4	100.3
	5月	94.9	92.9	101.2	82.8	102.8
	6月	94.8	92.9	108.0	103.9	102.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一産、 「コヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年平均	2,256	174	184	606	426	278	161	359	217	538	630	193	502
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年 4月	2,248	145	209	639	372	277	140	452	209	471	674	190	507
5月	2,232	146	188	605	297	281	150	354	177	420	527	200	508
6月	2,248	152	172	656	370	293	149	378	178	427	519	212	561
品目 単位 年月	みかん	グレフ イル ブ ツ	オレン ジ	いちご	バナ ナ	キ ウ フ イ ル ツ	緑(せ 茶ん 茶)	カ ー ネ シ ョ ン	き く	パ ラ	豚(口 肉 ス)	牛(口 肉 ス)	ま ぐ ろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年平均	546	354	404	153	245	686	609	159	168	312	233	793	497
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年 4月	-	310	381	127	260	647	613	158	171	327	226	775	465
5月	-	337	385	130	252	659	623	184	172	337	229	822	480
6月	-	341	371	-	248	682	620	150	159	324	222	844	481

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 423  
平成20年9月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417